



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

日頃より、歯舞地区マリンビジョン協議会に対し多大なるご理解・ご協力、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

当マリンビジョン協議会は平成18年の発足当時から、地域の活性化を図るべく「最東端の海からのメッセージ」をキャッチフレーズに、水産物のブランド化(一部会一品運動)、地元催事の開催、水産教室、北方領土県民会議や旅行会社のツアー受入れ、漁民泊の受入れ等を実施してきました。また、これらの取り組みをSNS等で積極的に紹介したり、全国各地で講演会を開催するなどして、広く情報発信を続けてきました。

昨年度は、令和4年に完成した漁協新施設・人工地盤施設を活用して多くの見学や体験学習を受け入れ、コロナ禍で実施を見合わせていた渚泊も再開しました。活気あふれる漁村地域を目指し、これからも積極的に活動を続けていきたいと思っております。

今年度前半の当協議会の活動を以下に一部ご紹介いたしますので、是非ご一読ください。

マリンビジョン協議会総会 5年ぶりに対面での開催

5月2日(木)、歯舞漁協4階の大会議室において、令和6年度マリンビジョン協議会の総会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、長らく書面での開催となっておりますが、今年は5年振りに対面での開催となり、たくさんの方達にお集まりいただきました。

書面とは違い、対面による総会の開催は、根室市と歯舞地域が一丸となって地域活性化に努めていく雰囲気を感じられ、これからの活動により一層気合が入りました。



総会の様子

昨年は沢山の学生を受け入れし、歯舞学園の水産学習や、施設見学、また新たな取り組みとして、東海大学静岡キャンパスの大学生を受け入れし、昆布漁業体験学習も実施しました。

今年は、去年に負けず劣らずたくさんマリンビジョン活動に取り組み、歯舞地域を盛り上げていきますので、これからもアドバイスや応援をよろしくお願いいたします!

「日本一遅く咲く桜並木」の整備

5月10日(金)午前9時30分より、今年で18年目を迎える「日本一遅く咲く桜並木」の整備を行いました。

今回も去年同様、組合事務所アクセス道路沿いに成木2本を植樹しましたので、これまで植樹した168本の桜と合わせ、合計170本となりました。

歯舞地域は潮風が強く、桜が育ちにくいと言われておりますが、多くの方々から寄贈していただいた大切な桜なので、専門家にアドバイスをいただきながら、毎年立派な桜が咲くよう、しっかりと整備していきたいと思っております。



植樹の様子



今年は去年より5日遅い5月28日（火）の開花となりました

クラブツーリズム ツアー客 施設見学



5/15(水)、クラブツーリズム(株)のツアー客 15 名が組合事務所の施設見学をしました。

クラブツーリズムさんによる団体の受け入れは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により長らく中止を余儀なくされておりましたが、今回、コロナが5類に変わってから初めてのクラブツーリズムさんの受け入れとなりました。

そして、クラブツーリズムさんを新事務所で受け入れたのも今回が初めてでもありました！

新しい組合施設に来ると、ツアー客の皆さんも立派な建物に圧倒されている様子でした。

今年もたくさんの学生やツアー客の皆さんを受け入れていきたいと思えます！



鮮魚の見学

色々な種類の魚が揚がっているので皆さん驚いていました



セリ見学

道東地区ではセリ時間短縮のため「下げセリ」という手法をとっています



新しい直販所と昆布加工所、昆布倉庫の見学

また、5/28(火)にもクラブツーリズム(株)さんのツアー客 15 名が組合事務所の施設見学をしました。これで今月は2回目の来所となり、歯舞地域がどんどん活気づいているのを実感しました！今回の体験ツアーは、前回と同じく鮮魚や昆布倉庫のほか、施設見学をしました。



市場見学



海業支援施設で昆布を購入



昆布倉庫見学

兵庫県甲南高等学校 施設見学

6月19日(水)、兵庫県甲南高等学校の生徒71名(引率含む)が当組合の施設を見学しました。

今回もたくさんの生徒の皆さんを受入れすることができました。

生徒全員、歯舞組合の新しく大きな施設に驚いており、更には日本最東端の地で新しい知識と経験を学んでいただきました。この施設見学等で得た知識・経験を、これからの勉強で存分に活かしていただければと思います。



市場セリ見学スペースでセリの様子などを収録したDVDを鑑賞

直販所店舗も大盛況でした！



昆布倉庫スペースで事業部職員による昆布の説明



恒例の昆布の重量当てクイズ



昆布の長さを全員で測りました！世界一長い昆布に全員驚いていました！

兵庫県水産振興基金の皆さん 施設見学

7月1日(月)、兵庫県水産振興基金(18名)の皆さんを受入れました。

今回は、中村専務よりプレゼンしていただき、新しい組合施設について説明をしました。

はじめは、組合の施設概要と衛生管理型市場について動画も用いて説明をし、次に、現在なお深刻化している人手不足解消に向けた新たな取り組みについて説明をしました。

皆さん熱心に聞いており、質問の中で、当地域が取り組んでいる防災、中でも昆布操業中でも災害に気づくことが可能である「防災情報伝達システム」について、強く感心しておりました。

その後、市場施設の見学、海業支援施設(こんぶ製品直販所・購買店舗)を見学してもらいました。



中村専務より新組合施設についてプレゼン



こんぶ製品直販所・購買店舗の見学

北海道マリンビジョンコンテストの表彰式

7月1日(月)、札幌にて令和6年度北海道マリンビジョン促進期成会の総会が開催され、北海道マリンビジョンコンテストの表彰式が行われました。

本コンテストは、北海道の各市町村地域にあるマリンビジョン協議会のうち、その年で最も活動的にマリンビジョン活動を実施している地域に対して表彰をしており、今回、歯舞地域は優良賞に選ばれました。

このような栄えある賞に選ばれたのも、関係者皆様のご協力を頂いた賜物と思います。

今後とも応援・ご助力のほどよろしくお願いいたします。



北海道マリンビジョン21コンテスト受賞歴

年度	部門	受賞名
2008年(平成20年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
	個別部門	北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞
2009年(平成21年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
2011年(平成23年)	個別部門	北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞
2012年(平成24年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
2015年(平成27年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
2017年(平成29年)	—	優良賞
2018年(平成30年)	—	最優良賞(最高位)
2019年(令和元年)	—	最優良賞(最高位)
2020年(令和2年)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
2021年(令和3年)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
2022年(令和4年)	—	最優良賞(最高位)
2023年(令和5年)	—	優良賞

※2017年度コンテストより「個別部門」の廃止

東海大学静岡キャンパスの学生 昆布漁業体験

7月18日(火)から歯舞地区で夏昆布操業が開始され、今年も東海大学静岡キャンパスの学生5名に、地域振興に関する昆布漁業体験を実施しております。

東海大学静岡キャンパスは、平成22年より根室市と「相互協力協定」を結んでおり、とても密接な関係にある大学です。

今回も、昨年度行われた新事業で、当組合が計画している観光・滞在型の「渚泊体験事業」と東海大学が実施する就労型の「インターンシップ制度」を融合させた、地域課題(昆布丘廻り不足)解消の糸口を模索すべく「新たなインターンシップ制度」の構築と実現に向け、「昆布漁業体験インターンシップ制度に向けたモニタリング事業」を実施しており、本年度は滞在期間を2週間として事業拡充に向けて取り組みました。

学生の皆さんの受入れが多くなってきておりますので、地方の学生の皆さんが歯舞の地域住民と親密に触れ合えるよう、これからもたくさん受入れをしていきます。



歯舞学園 3・4 年生 地曳網体験学習

7 月 10 日(水)、友知海岸において、歯舞学園 3・4 年生の生徒 30 名(他、引率 3 名)が、地曳網の体験学習を行いました。

例年、地曳網体験は、当日の気象状況・海の状況に左右されるため、開催できるかどうかいつも不安ではありますが、無事、今年も天候と海の状況に恵まれ、開催することができました。

開催にあたり、今年も地曳網の授業を引き受けてくださっている志和昭則さんより挨拶をいただき、生徒の皆さん全員で網を引きました。

この経験を通して、地域の基幹産業である漁業についてたくさん学んでいただけたらと思います。



力を合わせて網を引っ張りました



志和昭則さんよりご挨拶いただきました



揚がった魚は袋に入れて自宅へ持ち帰りました

根室市光洋中学校生徒 施設見学

7 月 17 日(水)、根室市光洋中学校の生徒 22 名(引率含む)が当組合の施設を見学しました。

普段は、歯舞学園の生徒の皆さんや、市外の学生さんを受入れしていますが、今回は久しぶりに根室市内の学生の皆さんを受入れすることができました。

生徒全員、歯舞組合の新しく大きな施設に驚いており、更には日本最東端の地で新しい知識と経験を学んでいただきました。この施設見学等で得た知識・経験を、これからの勉強で存分に活かしていただければと思います。



鮮魚の見学



昆布製品の見学



海業支援施設で事業部職員による昆布の説明

大阪箕面自由学園高等学校 施設見学

7月30日(火)、7月31日(水)、8月1日(木)、8月8日(木)の4日に渡り、大阪箕面自由学園高等学校が、今年も北方領土視察研修として組合に訪れました。

この受入れて対応した人数は前回を超える 244 名!今年もたくさんの生徒の皆さんを受入れすることができました。

当校の受入れは、いつもの施設見学のみではなく、朝食も提供し、皆さん美味しそうな笑顔で食べておりました。

これだけの人数分の朝食を作って下さった三宅食堂さん、ありがとうございます!

食事が終わった後は、歯舞で揚がっている魚の見学や、海業支援施設の見学、貝殻島昆布講話を聞いてもらいました。

はるばる大阪から歯舞地区へ来ていただいた生徒の皆さん!たくさんの学びを提供できたなら、我々も嬉しい限りです!



今年も美味しい朝食を提供していただいた三宅さん、ありがとうございます!



恒例となった昆布の重量当てクイズ



鮮魚の見学
立派な北海しまえびが揚がっておりました



渚泊のDVDを鑑賞

北方領土復帰促進少年少女派遣団 施設見学

8月5日(月)、富山県と和歌山県より北方領土復帰促進少年少女派遣団の学生ら36名が、組合施設を見学しました。

特に富山県黒部市は、根室市と姉妹都市でもあることからとても密接な関係にある地域であり、毎年見学に来てくれています。

北方領土問題はニュースでも多く取り上げられておりますが、未だに停滞の一途を辿っており、これからの若き青年らが、日本を代表し、問題解決に向けて頑張ってください。

当協議会の活動も、北方領土の隣接地域でもあることから、少しでも青少年らに助力できたらと思います。



鮮魚の見学では
大きな真鱈に驚いていました



道東地域は、珍しい「下げセリ」を見学できます



海業支援施設で事業部職員による昆布の説明

歯舞学園 1・2 年生が潮干狩り体験

7月19日(金)トーサムポロ漁港にて、歯舞学園1・2年生23名を対象とした潮干狩り体験学習が行われました。

開会式が終わると生徒たちは熊手とバケツを手に取りすぐさまアサリを掘り始めました。

生徒たちからは大きいアサリや小さなサワガニを見つける度に歓声が上がり、終始とても楽しそうにしておりました。

これからも歯舞学園さんと協力しながら、はばまい学を通じ、生徒たちが水産業へより強く興味を持っていただける取り組みをしていきたいと思ひます。

バケツと熊手を持ち
一斉に掘り出しました！



歯舞漁協職員からアサリ掘りにあたっての注意点の説明

アサリ潮干狩りの一般開放

8月5日(月)、8月6日(火)、8月7日(水)にアサリ潮干狩りの一般開放が行われました。来場者数はこの3日では、前回は上回る225名！天気も良く、お子様連れの来場者が数多く見受けられ、また、根室市外からも多数参加されておりました。バケツからこぼれ落ちそうになるくらいに掘ったアサリを笑顔で運ぶ親子がおり、大変微笑ましい光景でした。

参加者が掘り終えたアサリは、組合職員が丁寧に洗った後に袋に入れ、袋いっぱいのアサリを参加者は嬉しそうに持ち帰って行きました。

アサリ潮干狩りでは、普段経験出来ない体験をしていただいたことと思いますが、これをきっかけとして歯舞についてもっと興味をもっていただけたらと思ひます。



★インスタグラム、フェイスブック、新施設のPR動画も是非チェックしてみてください。



根室地域(歯舞地区) マリンビジョン協議会
インスタグラム  開設!!

右記のQRコードをスマートフォンで読み取りください。→



HABOMAI_GYOKYO

根室地域(歯舞地区) マリンビジョン協議会

歯舞漁業協同組合では、フェイスブックを活用したPR活動も行ってあります。まだご覧になった事のない方はぜひ下記QRコードをチェック！

■編集・発行・お問い合わせ■

- ・編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会
- ・お問合せ 歯舞漁業協同組合 総務部
- ・電話 0153-28-2121 FAX: 0153-28-2320

左記のQRコードをスマートフォンで読み取りください。

歯舞漁業協同組合 新施設PR用動画



右記のQRコードをスマートフォンで読み取りください。



■ 編集・発行・お問い合わせ ■

■編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局
■お問い合わせ 事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当
電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

